

豊岡市

みんなで考えるコミュニティの未来フォーラム

豊岡市における住民自治組織の あり方に関する研究

作野広和

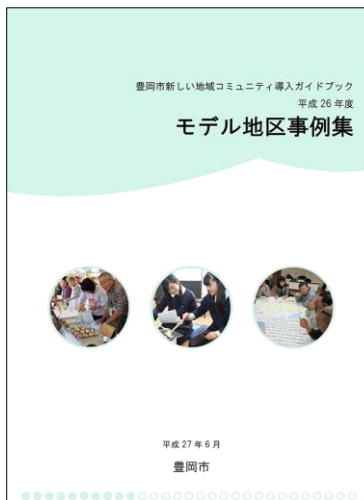
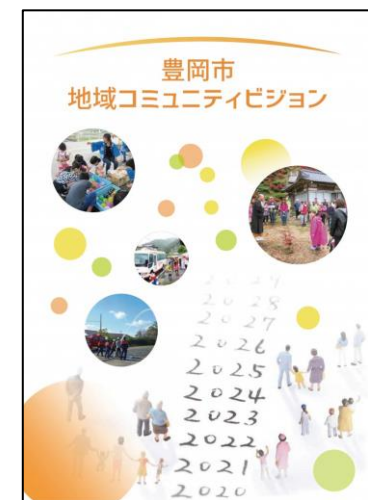
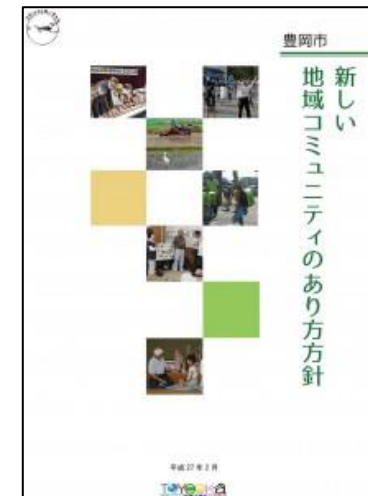
島根大学教育学部

- I はじめに
- II 地域をとりまく状況の変化
- III 地域コミュニティ組織チェックシートの分析
- IV これからの地域コミュニティを考える材料
- V おわりに

I はじめに

豊岡市における取り組み

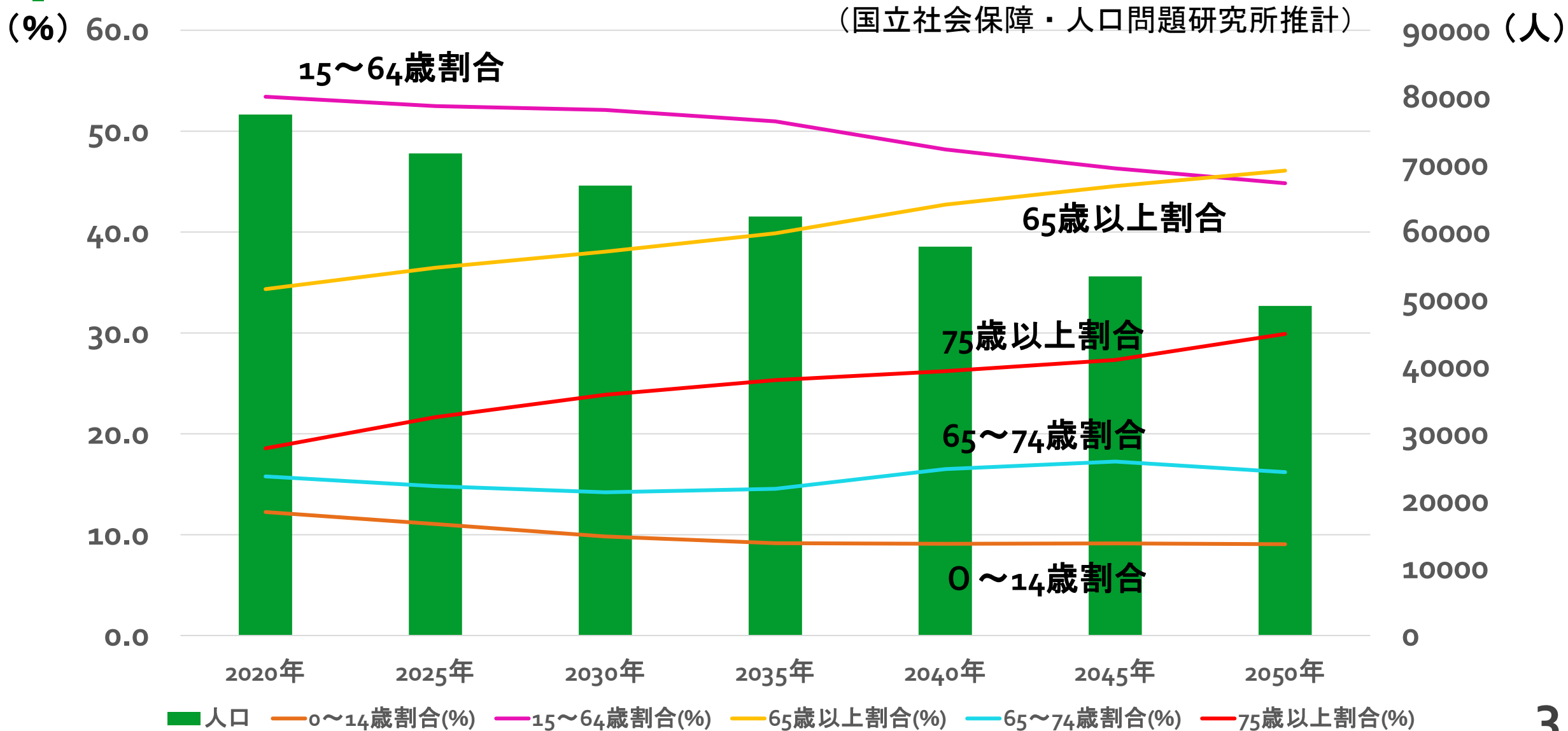
- 1年目 2011（平成23）年度 但東町資母・合橋・高橋地区への関わり（一部過疎）
- 2年目 2012（平成24）年度 但東町資母・合橋・高橋地区への関わり（一部過疎）
- 3年目 2013（平成25）年度 新しい地域コミュニティのあり方検討委員会設置
- 4年目 2014（平成26）年度 「新しい地域コミュニティのあり方方針」策定（モデル地区1年目）
- 5年目 2015（平成27）年度 地域コミュニティ政策推進会議設置（モデル地区2年目）
- 6年目 2016（平成28）年度 地域コミュニティ政策推進会議継続（モデル地区3年目）
- 7年目 2017（平成29）年度 地域コミュニティ組織設立（全29地区）
- 8年目 2018（平成30）年度 地域コミュニティビジョン策定委員会設置
- 9年目 2019（令和1）年度 「地域コミュニティビジョン」策定
- 10年目 2020（令和2）年度 地域づくり戦略会議設置・中間支援組織設立・
地域づくり職員ネットワーク設置
- 11年目 2021（令和3）年度 「支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査」の実施
- 12年目 2022（令和4）年度 「支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査」報告会の実施
- 13年目 2023（令和5）年度 「地域コミュニティチェックシート」試行



<共同研究追加情報>

Ⅱ 地域をとりまく状況の変化

豊岡市人口及び年齢階級別人口割合の変化：2023年12月22日公表



マクロ・グローバルな要因 → 影響は地域コミュニティへ

少子化・高齢化が急速に進展

人口減少による労働者の減少

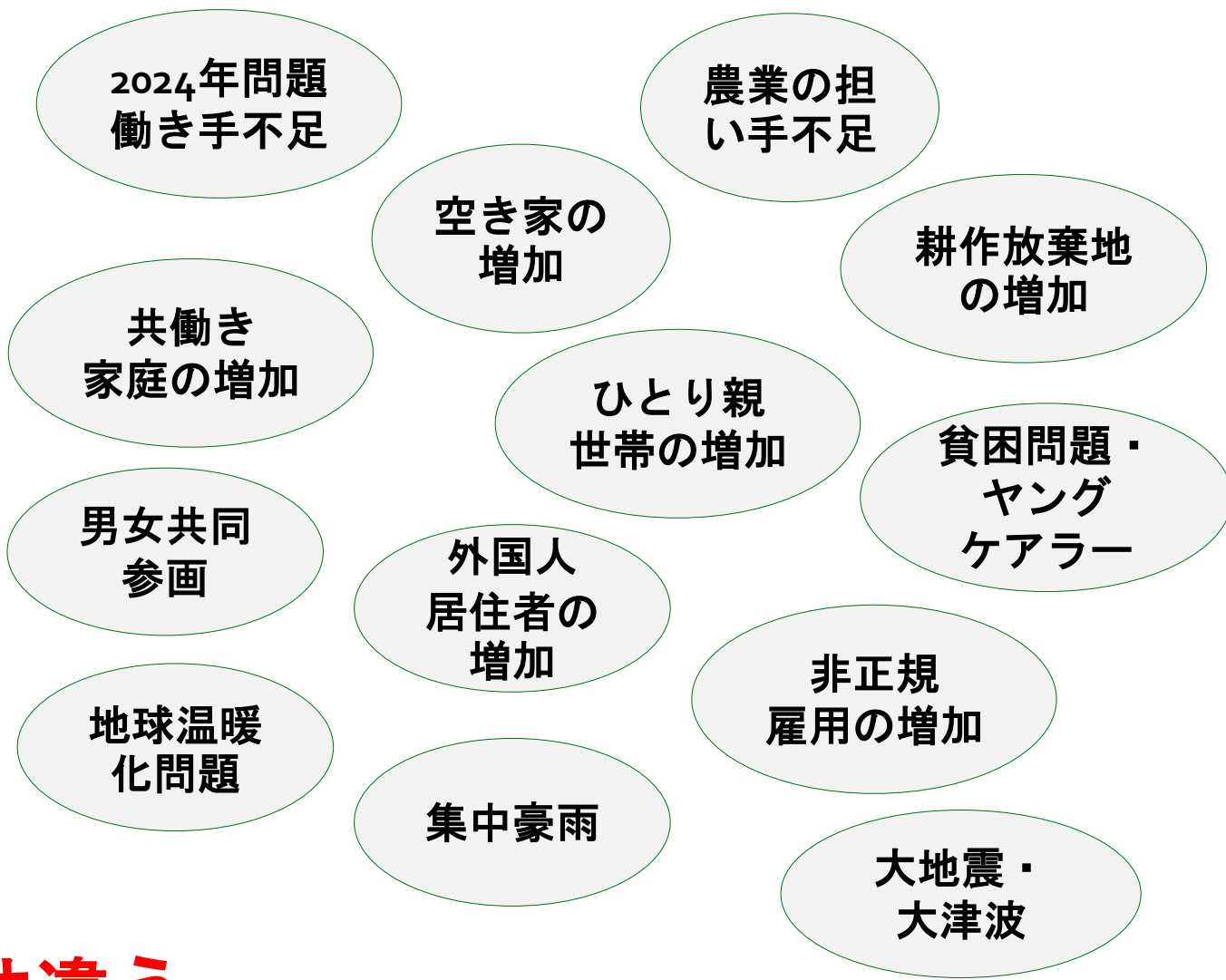
ライフスタイルの多様化

多様性理解の深化

経済格差の拡大

環境問題の深刻化

自然災害の大規模化・多発化



「これまで」と「これから」は違う

(兵庫県佐用町資料より作成)

個人農家（自助）・地縁的組織（互助）を補完する共助組織

公助

公共サービス

民間サービス

自助

共助
(志縁)

地域運営組織：地域コミュニティ

人

自助

・
互助
(地縁)

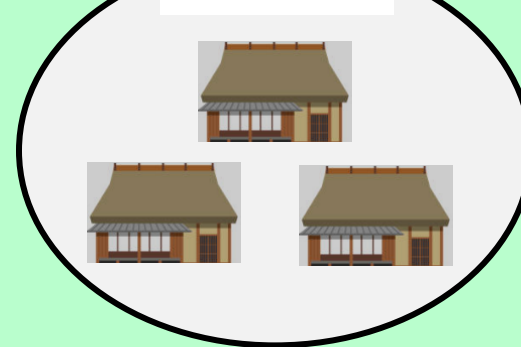
行政区



行政区



行政区



イ工
(世帯)

参加者募集 / 参加無料

中山間地域の未来を 考えるシンポジウム

～地域への愛着と誇りを、将来への希望と安心につなげる～

急激な人口減少と高齢化の進む中山間地域において、将来に向けて安心して暮らすためには、どのような課題があるのでしょうか。

広島県は「広島県集落対策に関する検討会議」を設置し、持続可能な地域運営の仕組みづくりや、安心して暮らし続けられる生活環境の在り方等について、地域の実態と地域住民の声を参考に、有識者による議論を進めてきました。

中山間地域の価値を再認識し、守っていくことの重要性について、皆さまと考えていきます。



要約筆記あり

日時 2024年 3月23日(土)
13時～15時40分(開場12時30分)

会場 十日市きんさいセンター
(広島県三次市十日市南1丁目2-18)
【オンライン配信有り】



申し込みは裏面へ

プログラム

13:00 基調講演「中山間地域の集落が果たす役割と未来への対応」
講師 / 作野 広和氏 (島根大学教育学部教授・広島県集落対策に関する検討会議座長)

13:40 パネルディスカッション「地域住民が暮らし続けられる集落へ～その価値を未来へつなぐ」
登壇者 作野 広和氏, 浦田 愛氏 (NPO法人はしはら山のがっこう事務局長・広島県集落対策に関する検討会議構成員), 黒川 章男氏 (NPO狩留家理事), 宮野 元杜氏 (元神石町長・ながの村自治振興会会長), 今田 順氏 (地域価値共創センター ディレクター), 福岡 誠志氏 (三次市長), 湯崎 英彦氏 (広島県知事)

コーディネーター 城戸 収氏 (中国新聞社編集局報道センター社会担当部長)

主催 / 広島県



みんなで創ろう地域の未来

持続可能な 地域コミュニティの 実現に向けた シンポジウム



参加者募集!
ワールドカフェは飲み物・お菓子付き

日時 令和6年(2024年) 2月4日(日)
14:00～17:00(開場13:00)
会場 広島国際会議場「ダリア」
〒730-0811 広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

参加無料・要事前申込 (定員になり次第締切)

会場 先着300名 (ワールドカフェは先着100名)

WEB参加 先着500名 (Zoom Webinars)
※ワールドカフェは会場のみ

申込方法 WEB、E-mail・郵送、FAX 詳しくは裏面をご覧ください。
WEB申込はこちら▶

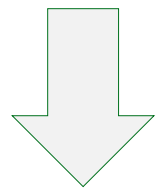
【セレモニー】14:05～14:15
「ひろしまLMO」ロゴマーク発表
【基調講演】14:15～15:00
みんなでつくる 広島型地域運営組織「ひろしまLMO」
講師 / 島根大学 教育学部 教授 作野 広和氏

【トークセッション】15:00～16:00
「自分たちのまちは自分たちで創り、守る」～「共助」の精神に基づく市民主体のまちづくり～
パネリスト / コミュニティデザイナー・studio-L代表 山崎 亮氏, ひろしまLMO 大林学区地域運営委員会会長 坊 聡彦氏, フリーアナウンサー・元TBSアナウンサー 橋田 絵理奈氏, 広島市企画総務局長 阪谷 幸春

コーディネーター / リエゾン地域福祉研究所代表 丸山 法子氏
コメントーター / 島根大学 教育学部 教授 作野 広和氏

【ワールドカフェ】16:10～16:55
①あなたの暮らしに地域コミュニティは必要ですか?
②地域コミュニティ活動に楽しく参画するためには?
ファシリテーター / リエゾン地域福祉研究所代表 丸山 法子氏

地域のあり方を見直さざるを得ない

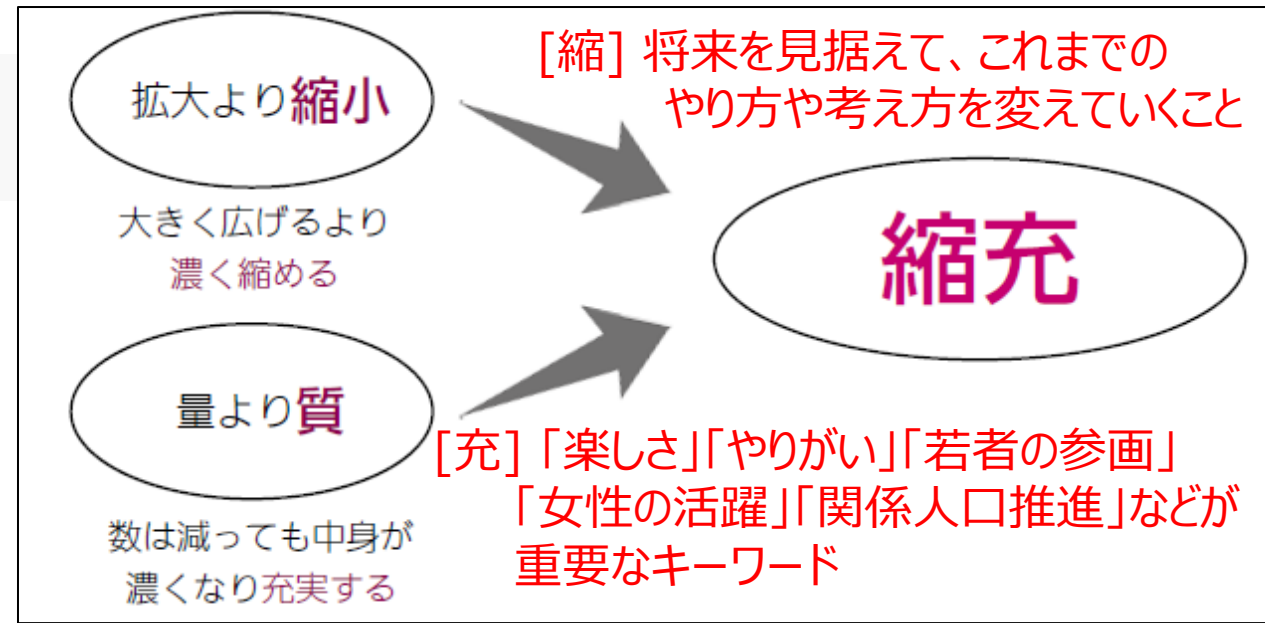


広島市も
地域運営組織を
設立
全：140校区(予定)
人口：約120万人

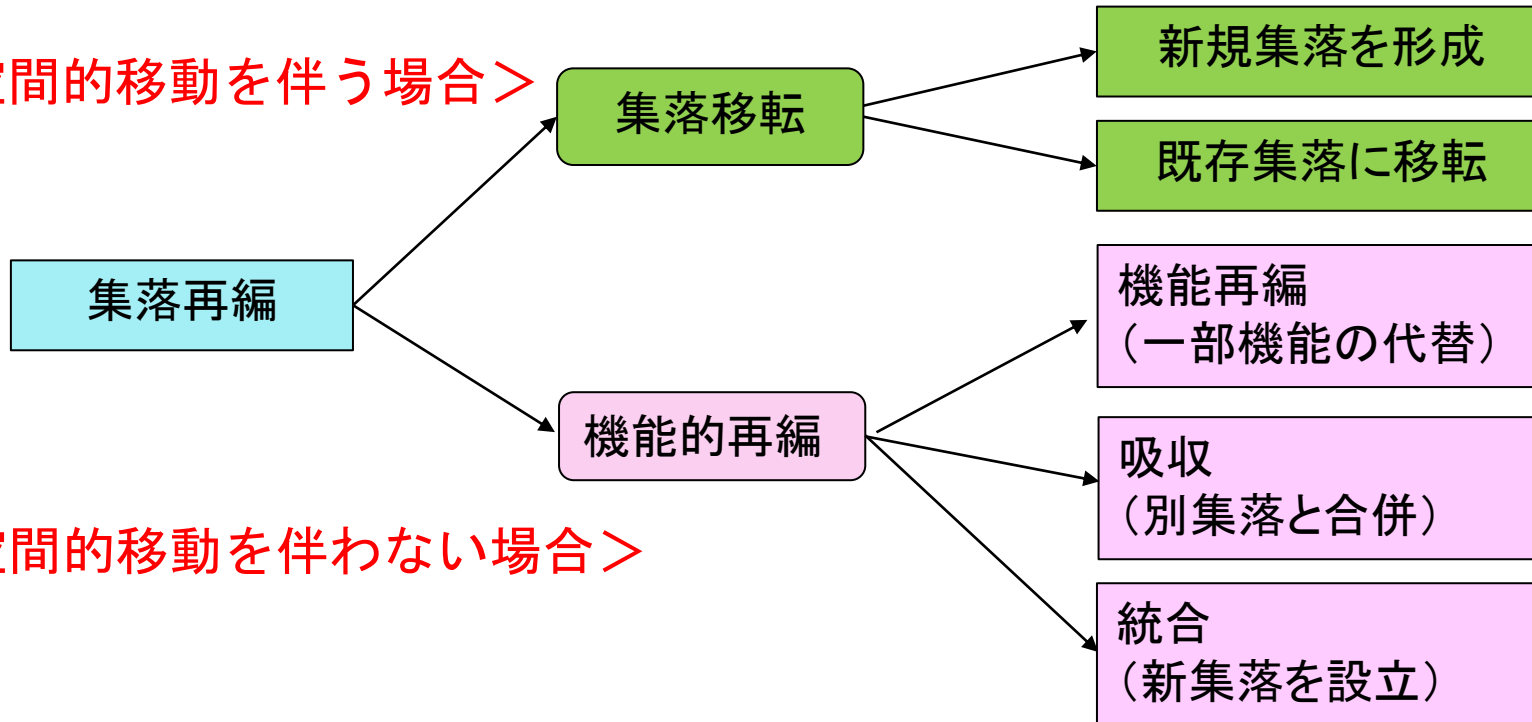
「縮充」社会の構築

■「縮充」の定義

「地域を持続させるために必要な最低限の人口を維持するとともに、人口が減ることを前提とした豊かに暮らしていく仕組みづくり」

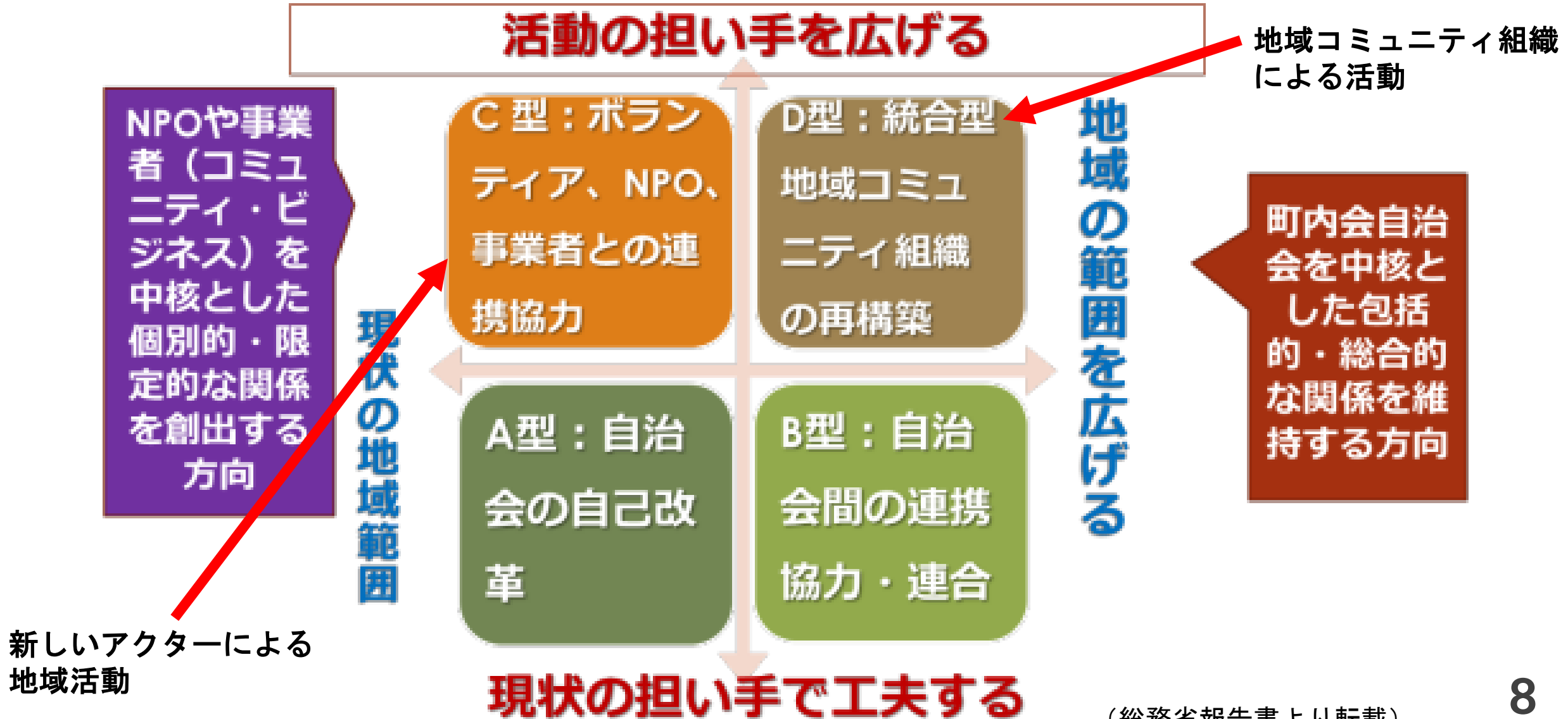


<空間的移動を伴う場合>



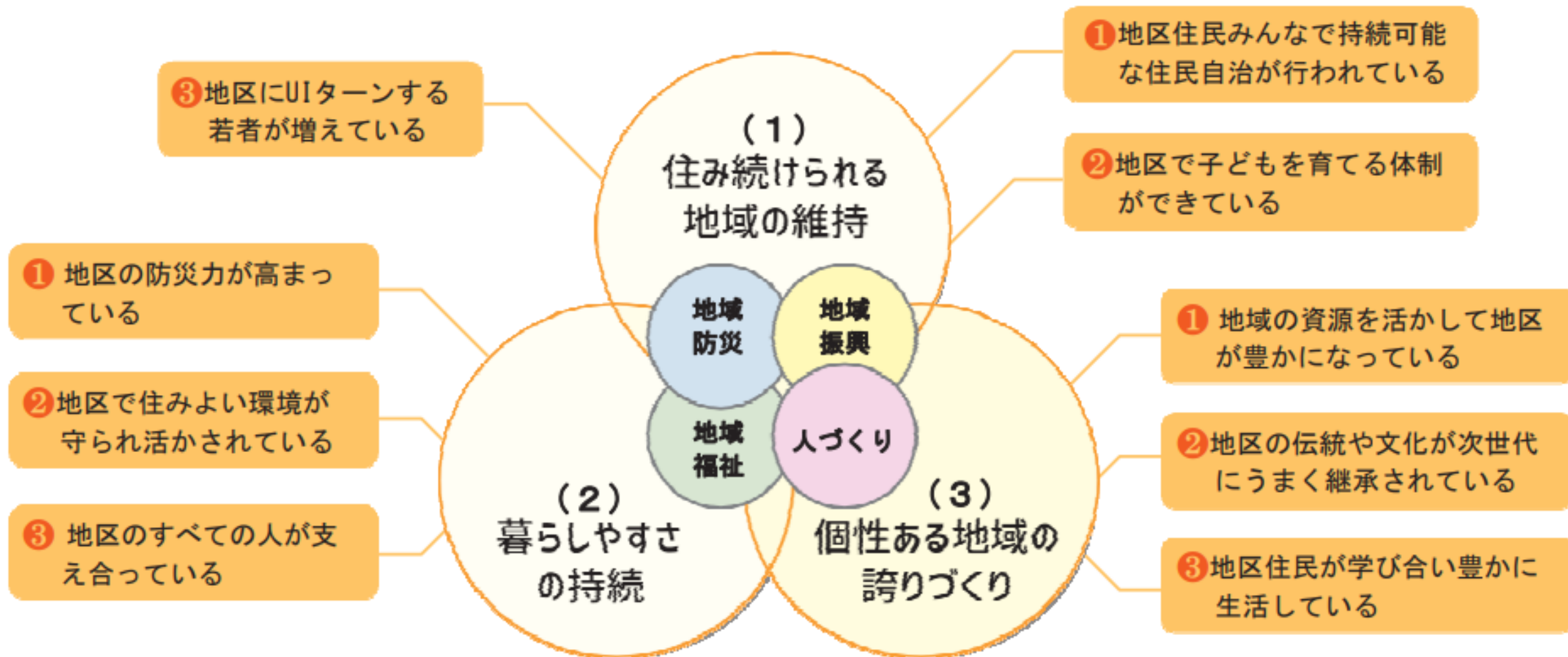
<空間的移動を伴わない場合>

持続可能な地域コミュニティの再構築：2つの方向性と4つの選択肢



Ⅲ 地域コミュニティ組織チェックシートの分析

豊岡市「地域コミュニティビジョン」が目指す地域像



地域コミュニティ組織チェックシート

(1) 組織力の深化

① 住民意識の深化

項目	十分 やっている	一部 やっている	実施検 討中	必要だが やってい ない	検討し たこと がない
① 広報を行っている					
② 独自SNS・HPがある					
③ コミセンが自主的な活動ができる場として地区住民に広報している					
④ 女性・若者が集える機会を作っている					

② 地域コミュニティ組織と行政区の関係

項目	1	2	3	4	5
項目	十分 やっている	一部 やっている	実施検 討中	必要だが やってい ない	検討し たこと がない
① 地域コミュニティと各区が定期的に情報交換・共有を行っている					
② 各区・町内会の事業や状況を把握・整理している					
③ 地域コミュニティ組織から各区・町内会へ依頼する部員等の動員数が定期的に見直されている					

③ 地域づくりに関わる人材の発掘・育成

組織体制

項目	十分 やっている	一部 やっている	実施検 討中	必要だが やってい ない	検討し たこと がない
① 規約、組織図、事業計画を地区住民に共有している					
② 地区住民なら誰でも部員になれるルールになっている					
③ 広く部員等を募集している					
④ 事業内容やノウハウが継承できるよう役員等の世代交代をしている					
⑤ 誰でも意見が言いやすい役員会・会議の持ち方をしている					
⑥ 会議体の役割・機能を適切に使い分けている(例：事務局会議、役員会、決める会議、共有する会議等)					

2023年度試行実施

自分たちの地域を見つめなおす
地域コミュニティ
チェックシート

2024
2/15
まで

今後必要な事業や運営方法の検討に！
地域づくり計画の見直しに！

みんなが豊かに暮らすには？

これからやるべき活動は？

地域コミュニティ組織の役割は？

目的

事業・運営方法、地域づくり計画の見直し等に使えるツールを作成に向けて今年度試行実施します

対象

全地域コミュニティ組織
※今年度は試行実施であり会長と地域マネージャーでお答えいただきます

方法

エクセルに○を記入するだけです
※期日までに下記問い合わせ先へメール送付ください

その他

島根大学作野教授との共同研究の一環事業です
市役所各課とも情報共有し、連携を図ります

お問い合わせ
豊岡市地域づくり課

TEL 0796-21-9020
mail community@city.toyooka.lg.jp

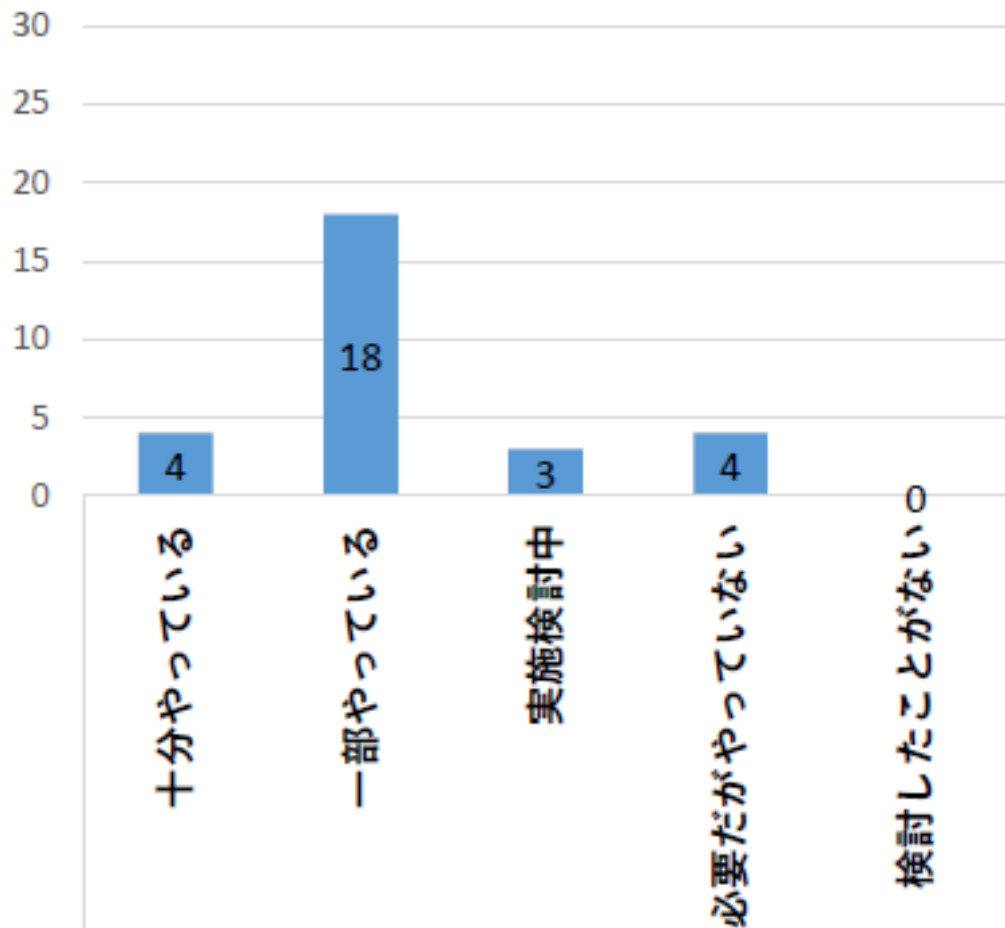
10

多様な主体の参画：女性，若者，（子ども）

島根県伊野地区：出席者の半数が女性の会

まちの将来を考える動画作成

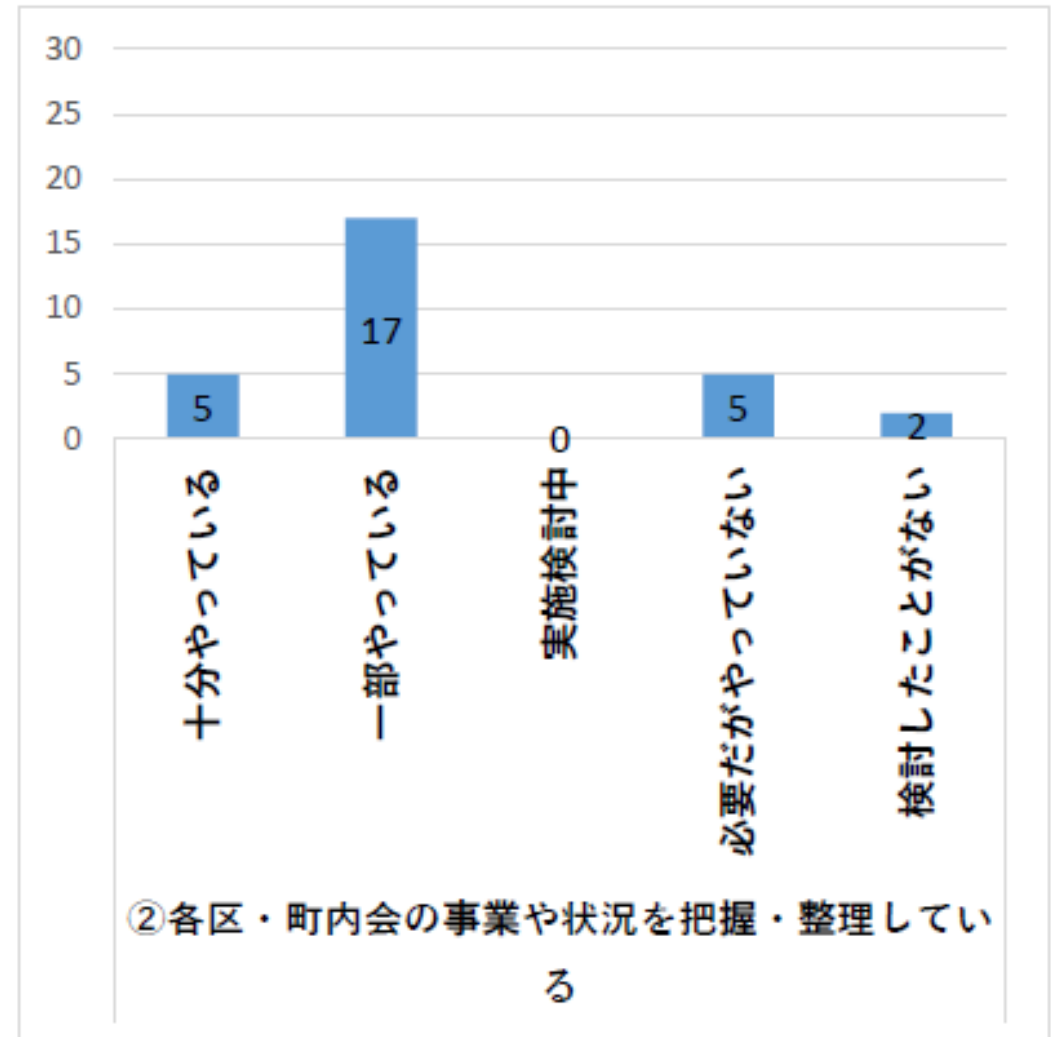
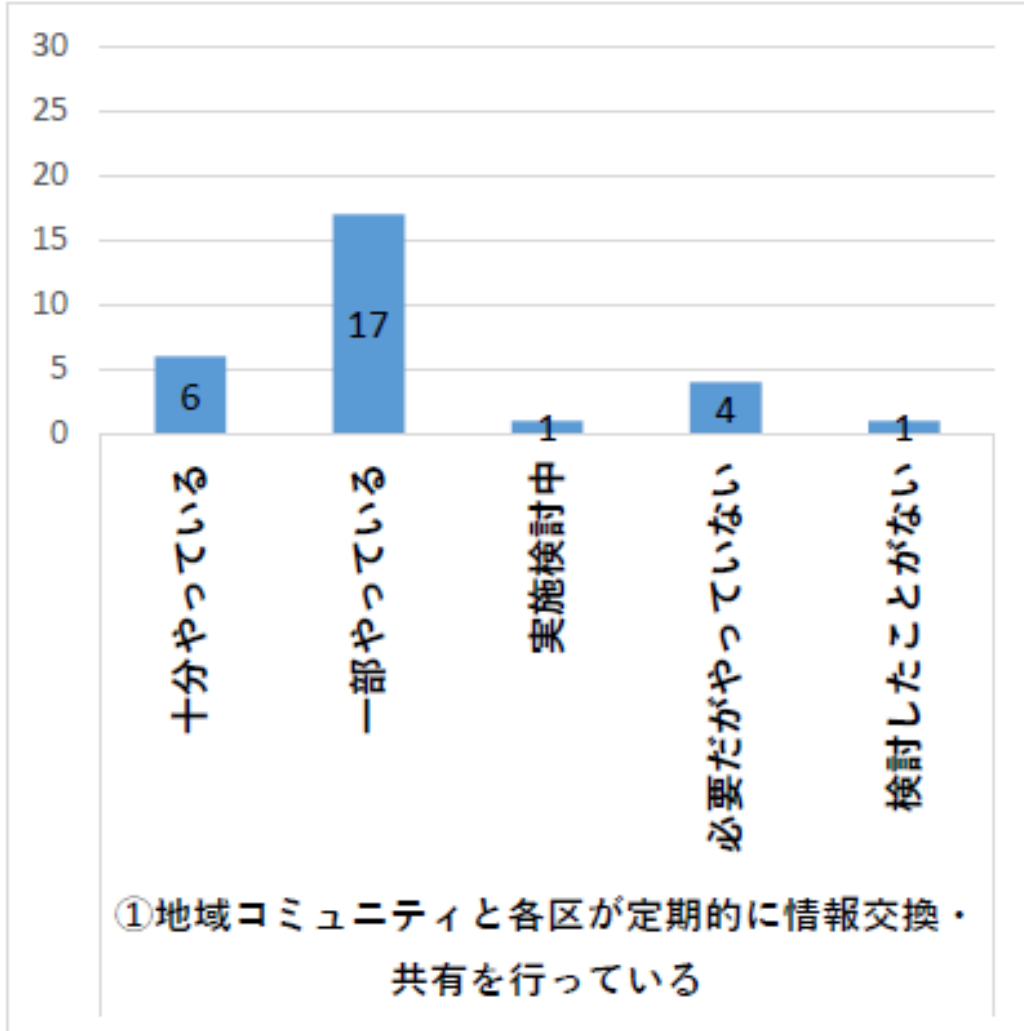
集落（町内会）や各種団体等で上映



④女性・若者が集える機会を作っている

地域コミュニティと行政区・町内会との相互補完関係

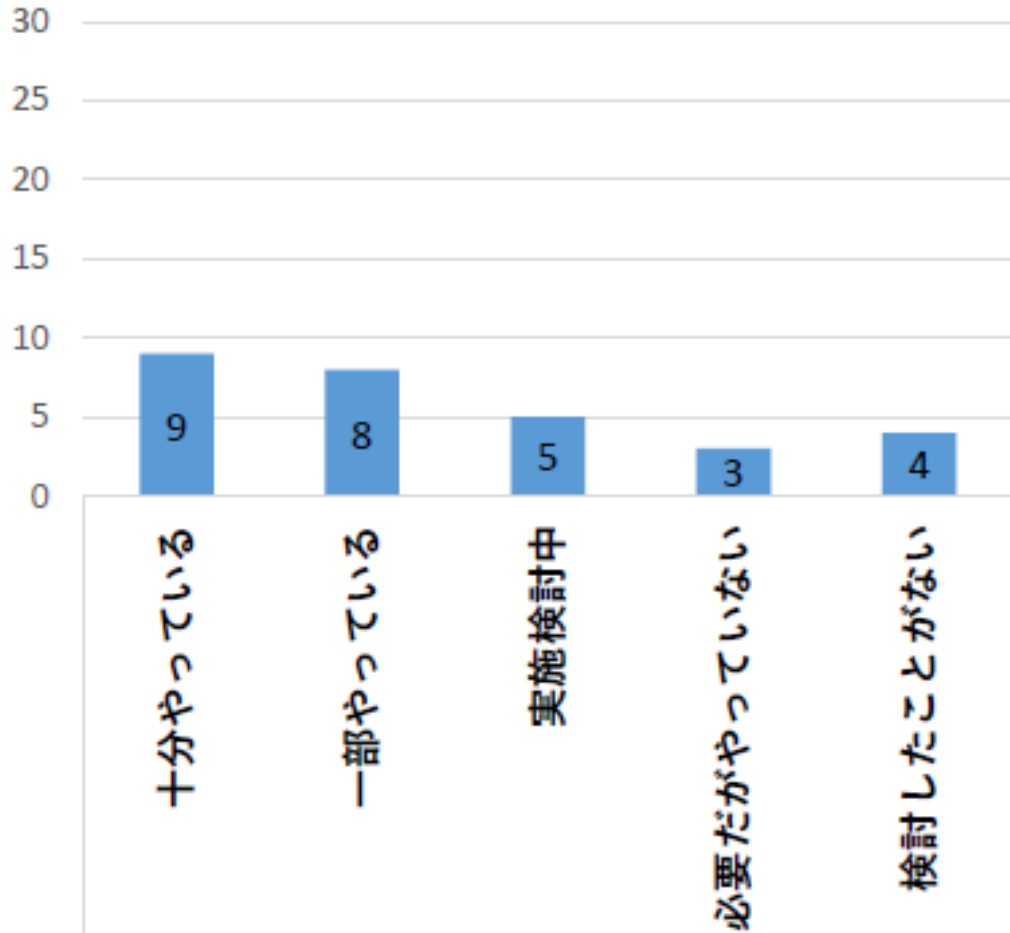
② 地域コミュニティ組織と行政区の関係



地域住民など「みんなで」地域を支え・盛り上げる活動

島根県伊野地区：裾野を広げる活動 【話し合い】

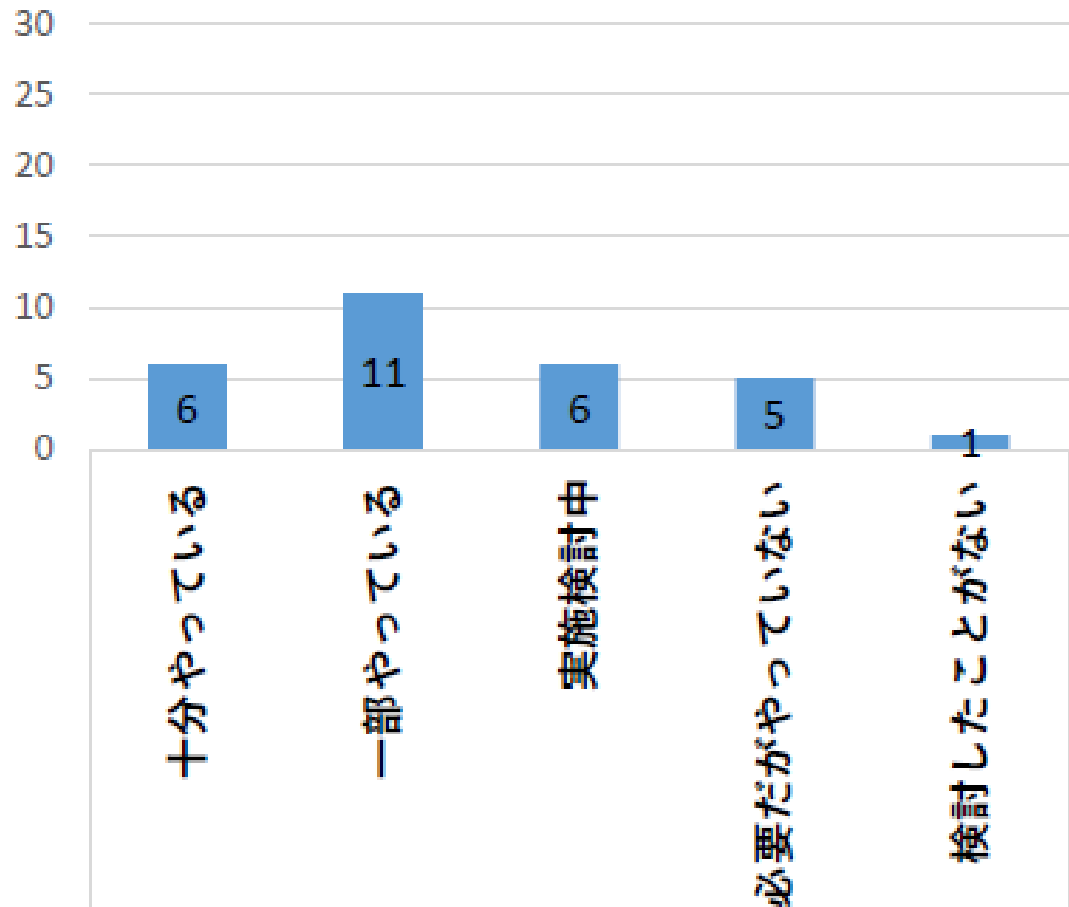
声を出そう 受け止めてくれる人がいる



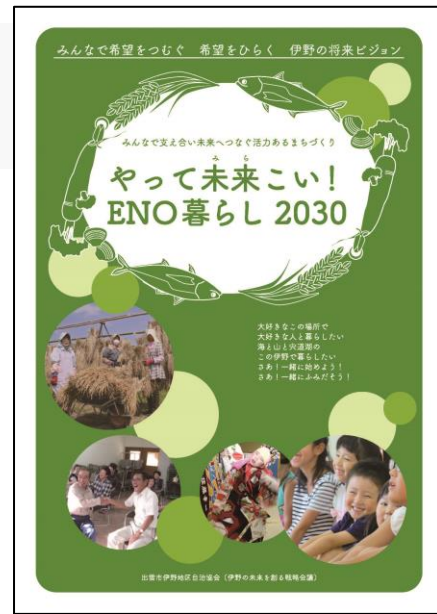
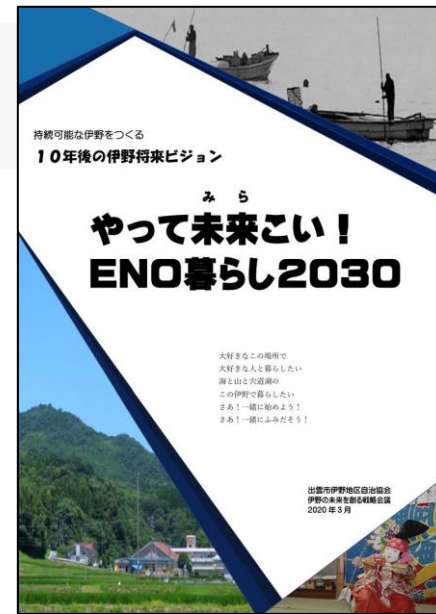
③ 広く部員等を募集している

(出雲市伊野地区資料より転載)

一部の人に仕事を集中させない活動



④事務局まかせばかりでなく、事務局をサポートする人材がいる



長期的展望に立った「持続可能なコミュニティ」づくり



2019年 伊野の未来を創る戦略会議(7部会 80余名)

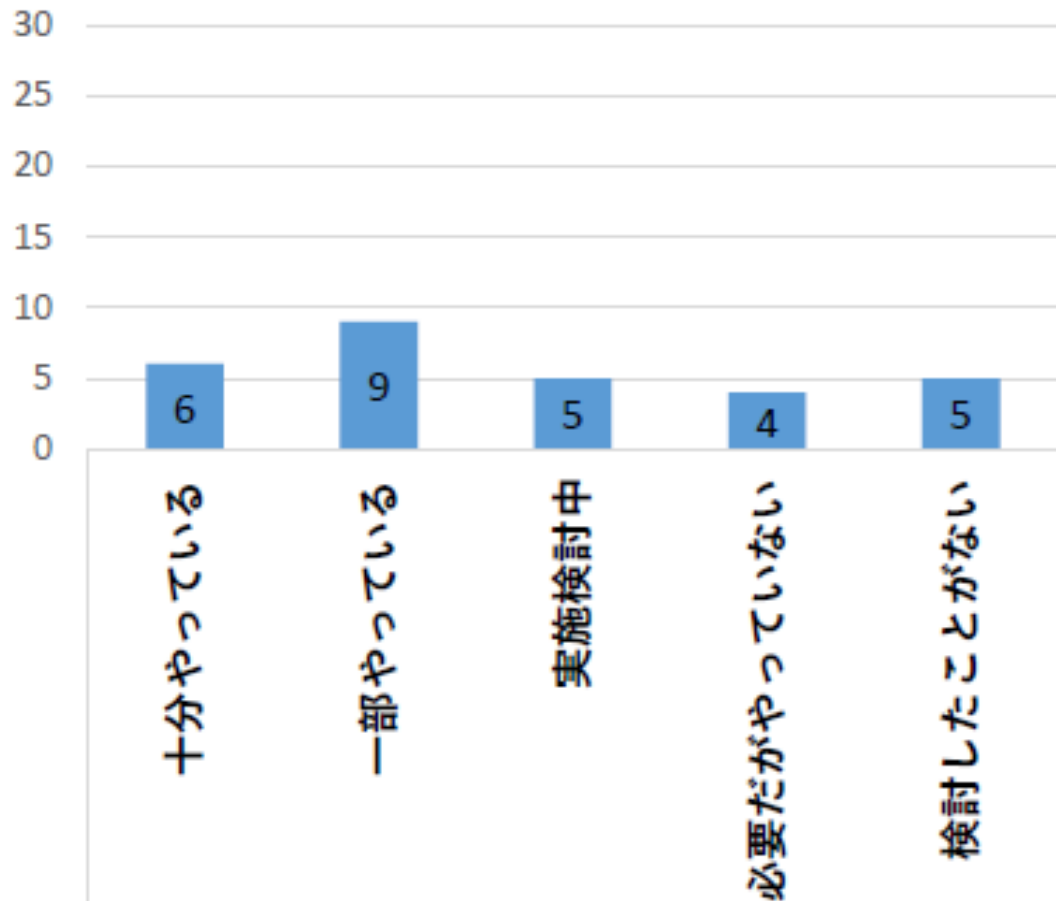
10年後の伊野ビジョン

2020年
まちづくり推進組織「伊野やって未来こい! ネット」結成
「やって未来こい! ENO暮らし2030」



(出雲市伊野地区資料より転載)

補助金・交付金・自主財源：「お金」は地域を動かすツール（口実・大義名分）



⑩国・県補助金、スモールビジネス等、交付金以外の財源確保を図っている



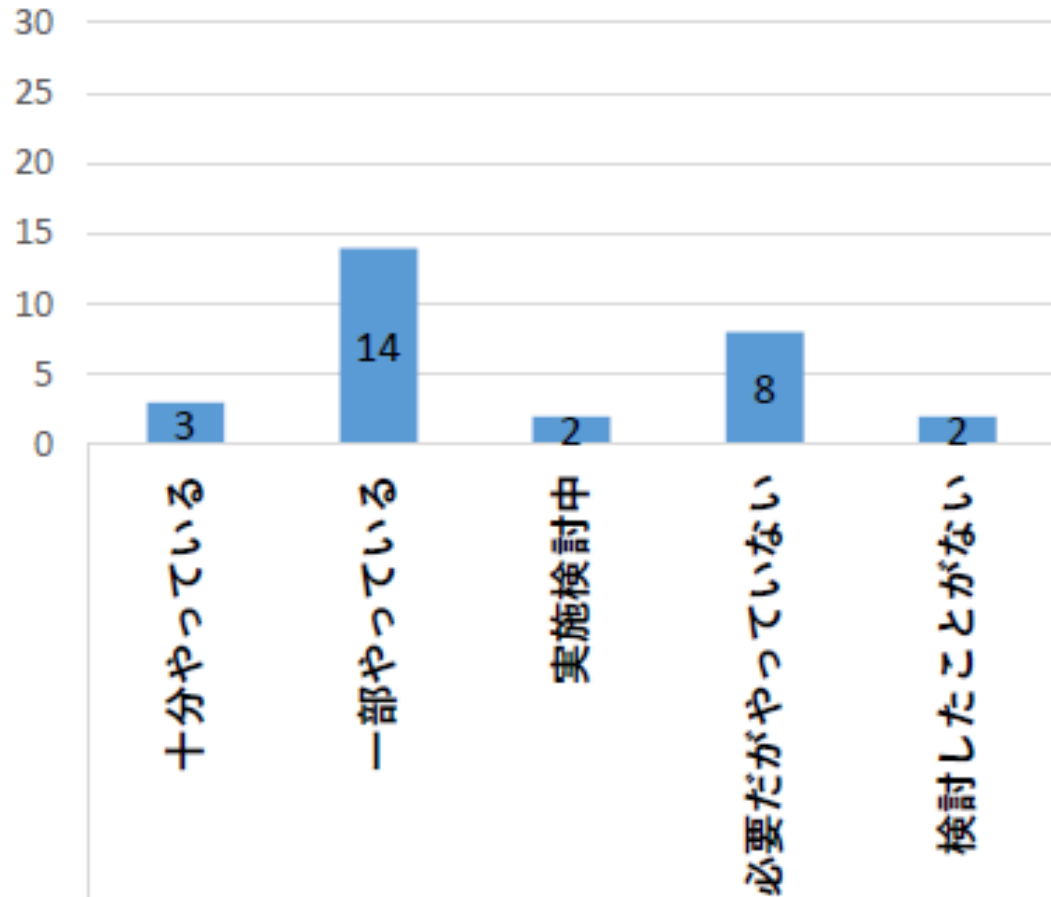
水道検針を受託することにより自主財源を確保



水道検針の際に高齢者の「見守り」を実施

（島根県雲南市鍋山地区資料より転載）

住民のだれもが主体となれるために：「関わりしろ」を増やす



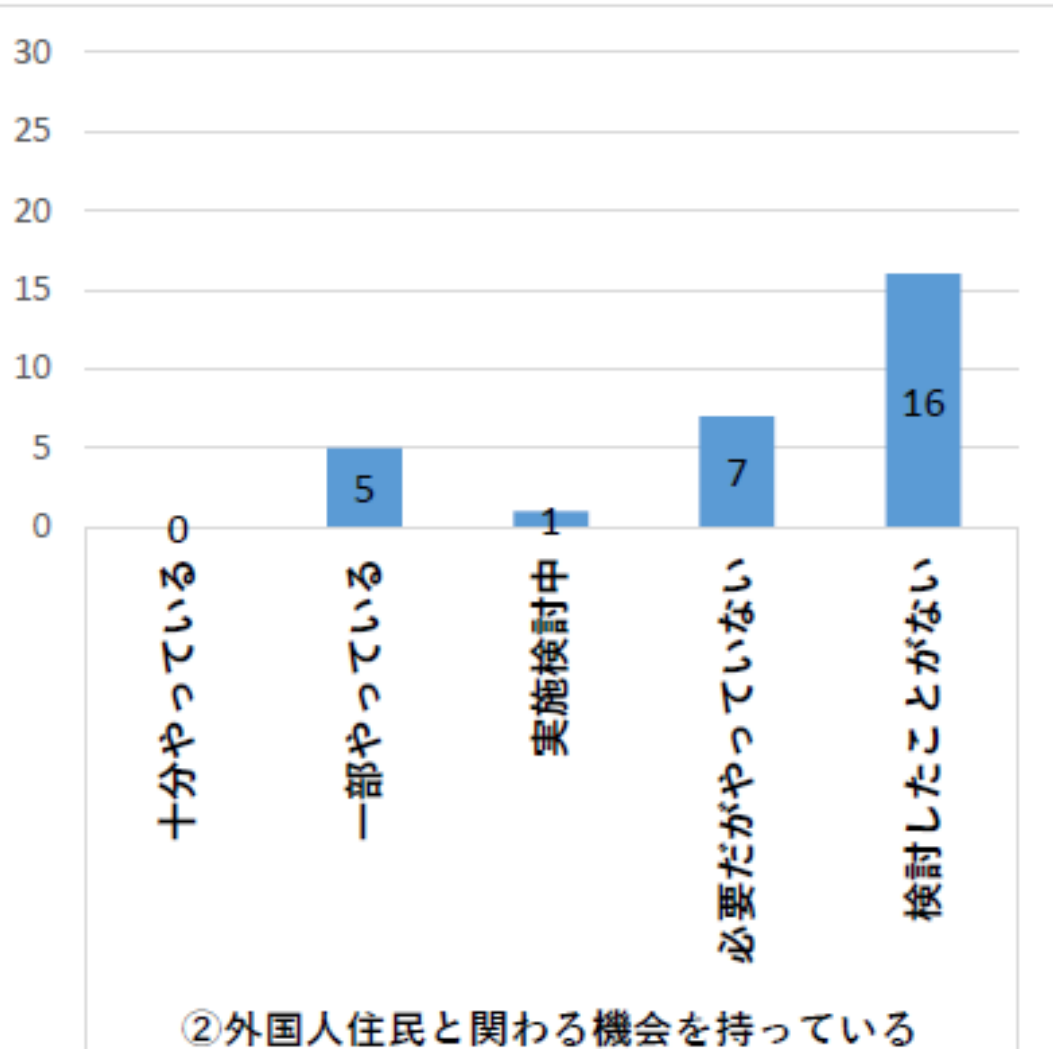
③得意分野を持つ住民・団体等を把握・整理し協働事業ができるネットワークになっている

島根県伊野地区：得意分野を持つ大人が子どもとともに楽しみながら活動



(出雲市伊野地区資料より転載)

多様な主体：外国人



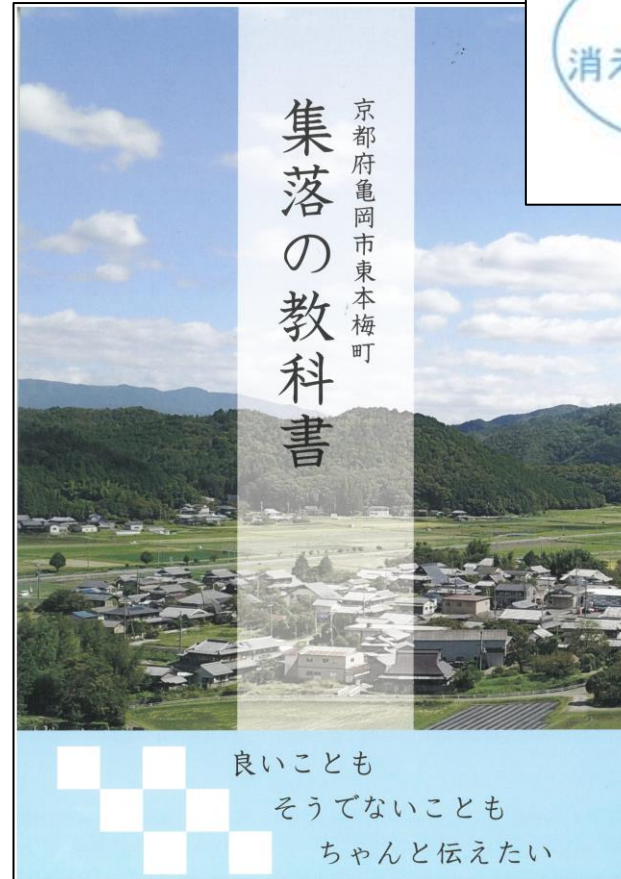
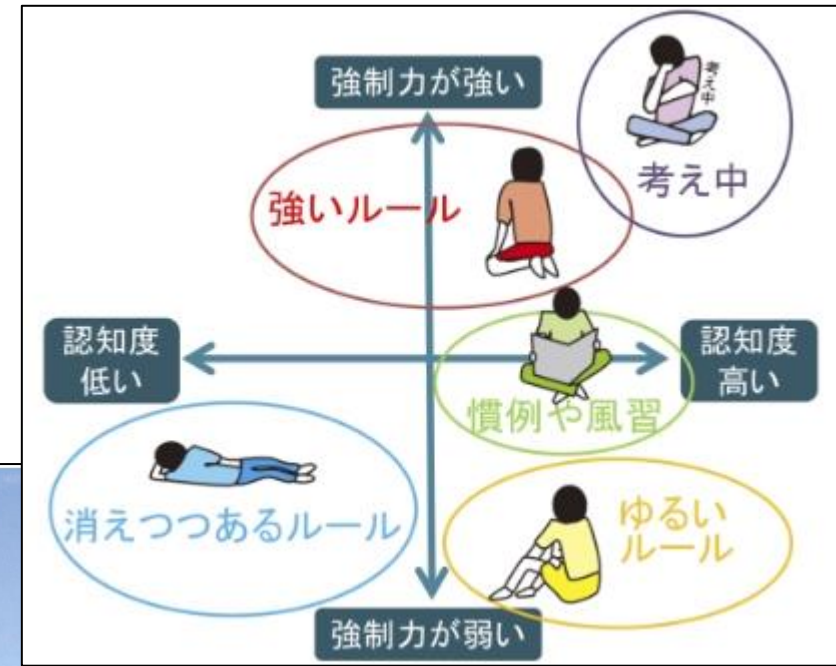
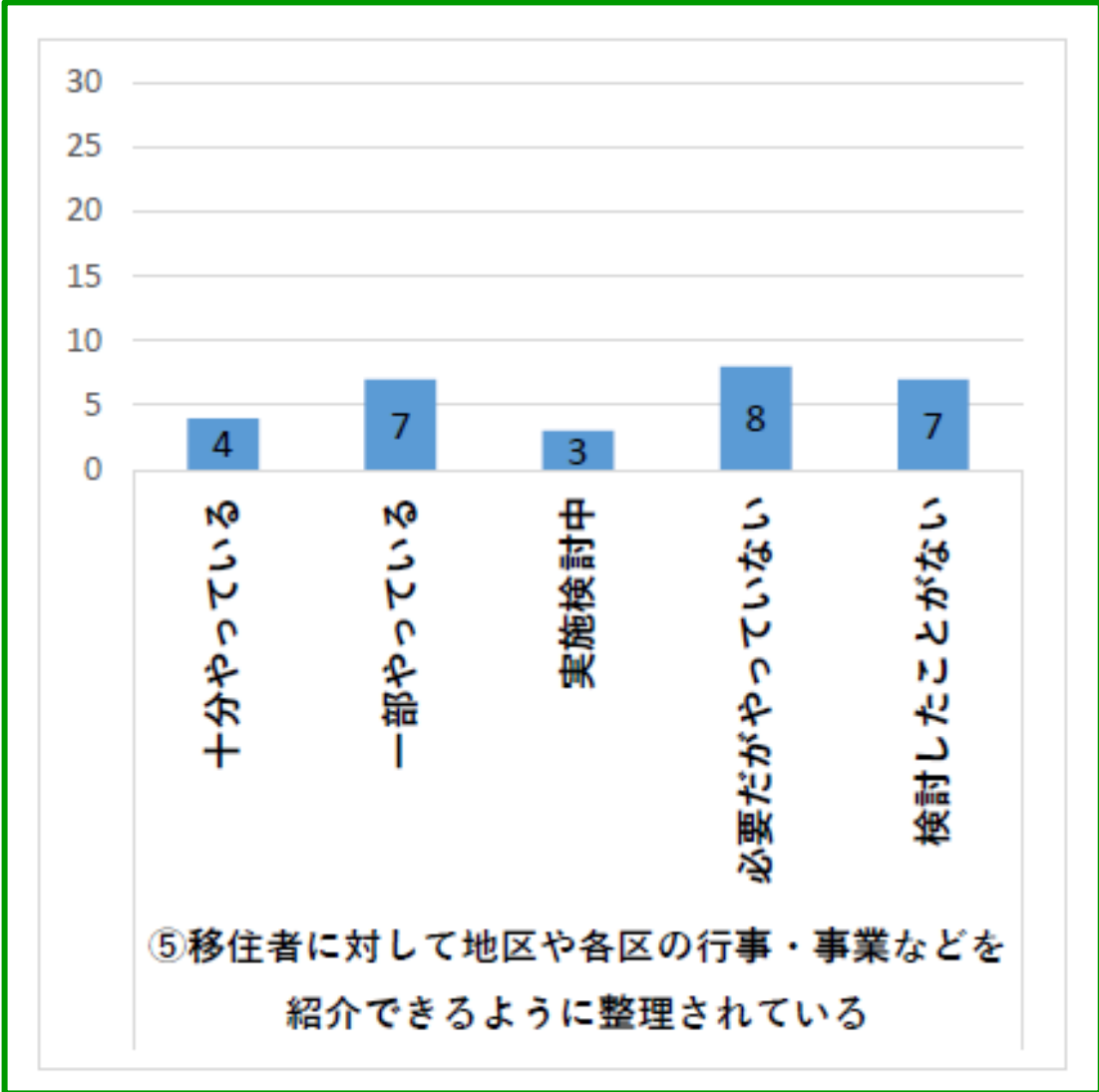
島根県伊野地区：国際ワークキャンプ 多様性を享受できる地域社会づくり

外国からのお客さまに浴衣を着せたい！ 着付けならまかせて



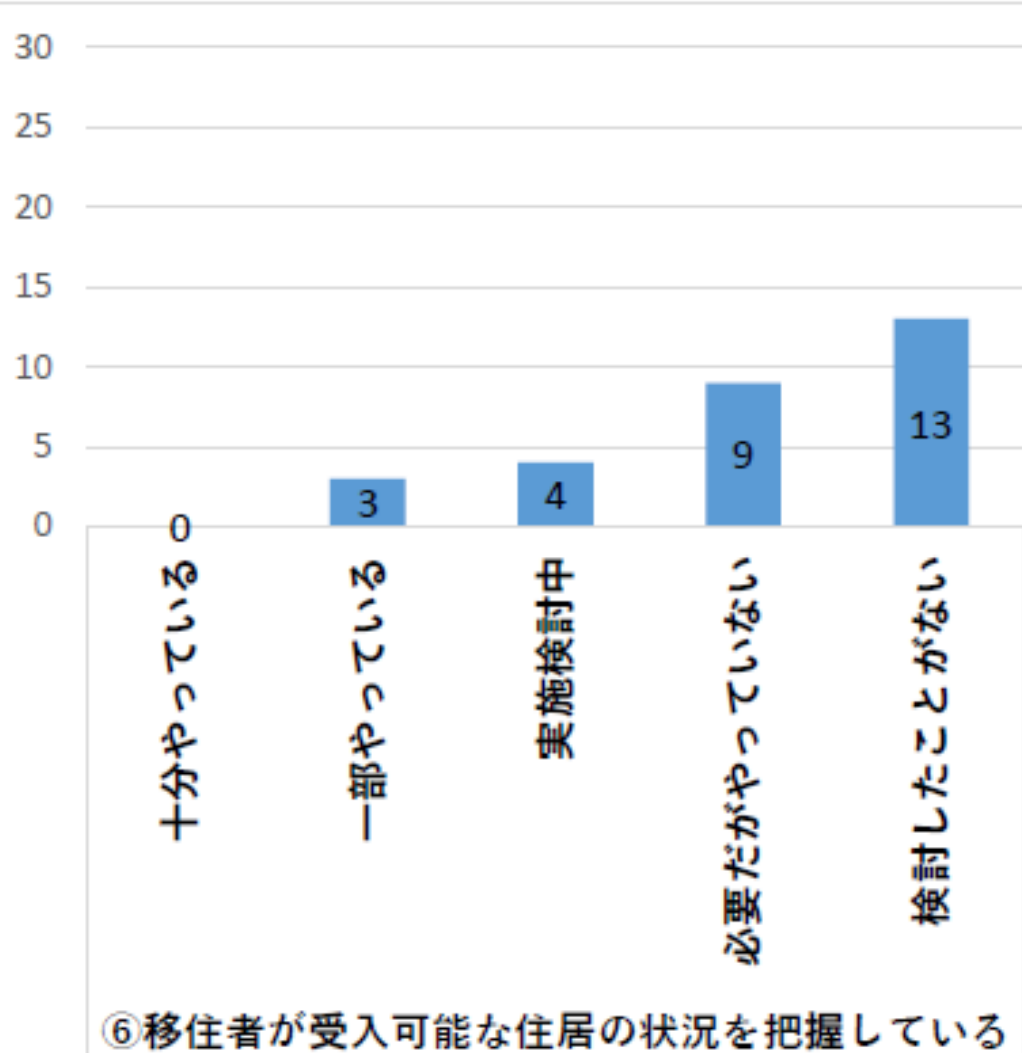
(出雲市伊野地区資料より転載)

移住者にやさしいまちづくり：「集落の教科書」

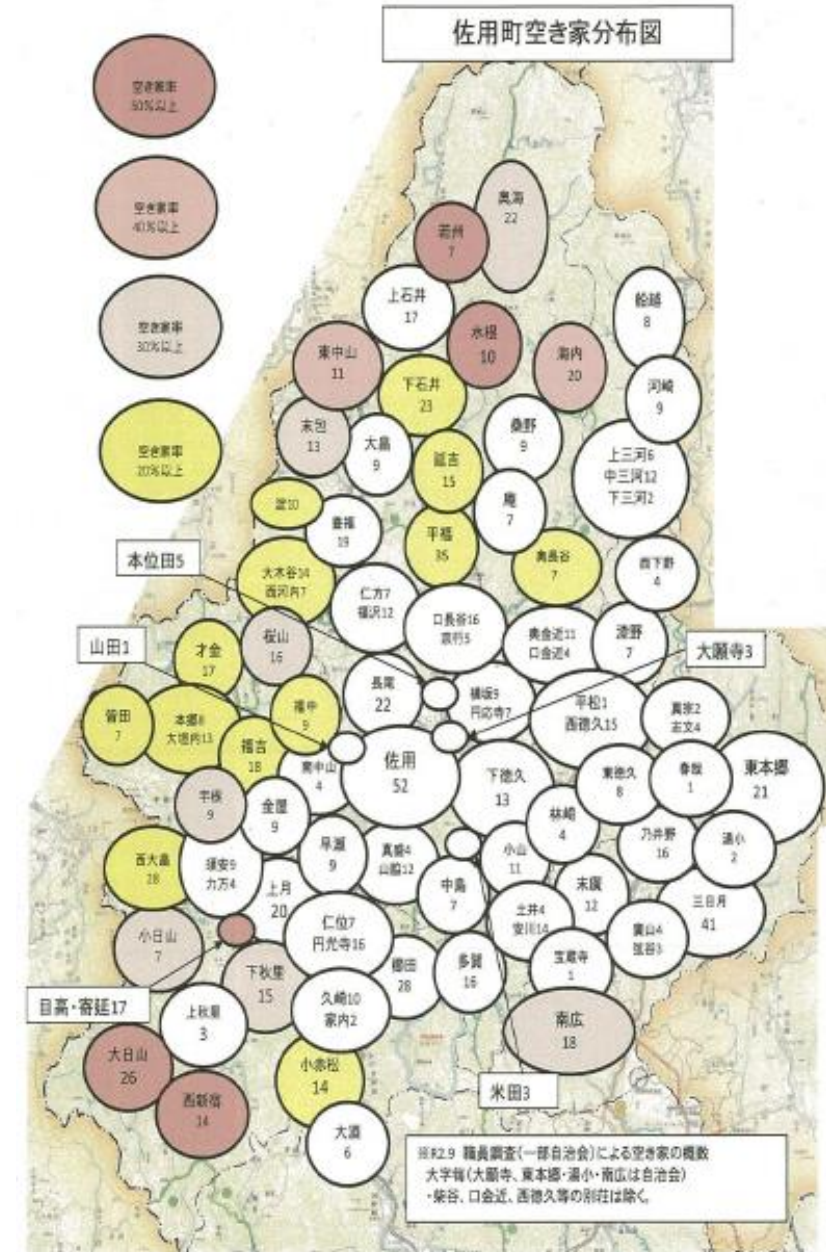


(亀岡市東本梅町資料より転載)

地域を維持するためにU Iターンを促進

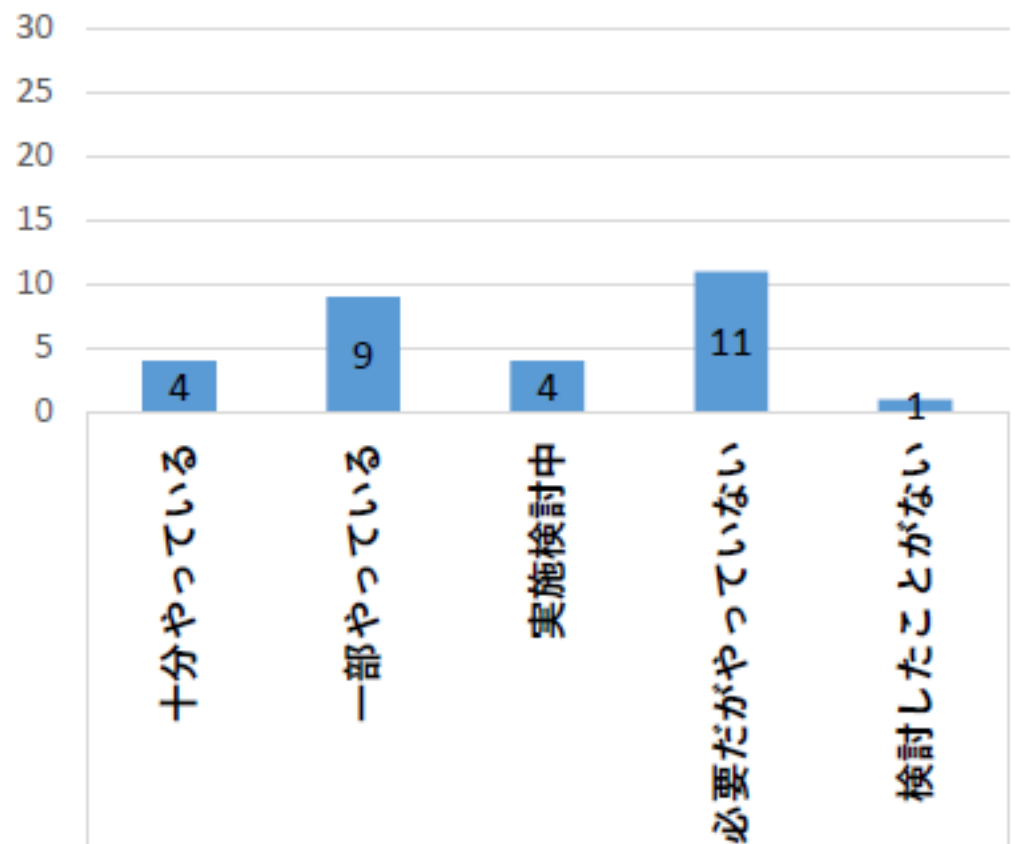


佐用町は空き家の全数を把握している



(「佐用町空き家等対策計画」より転載)

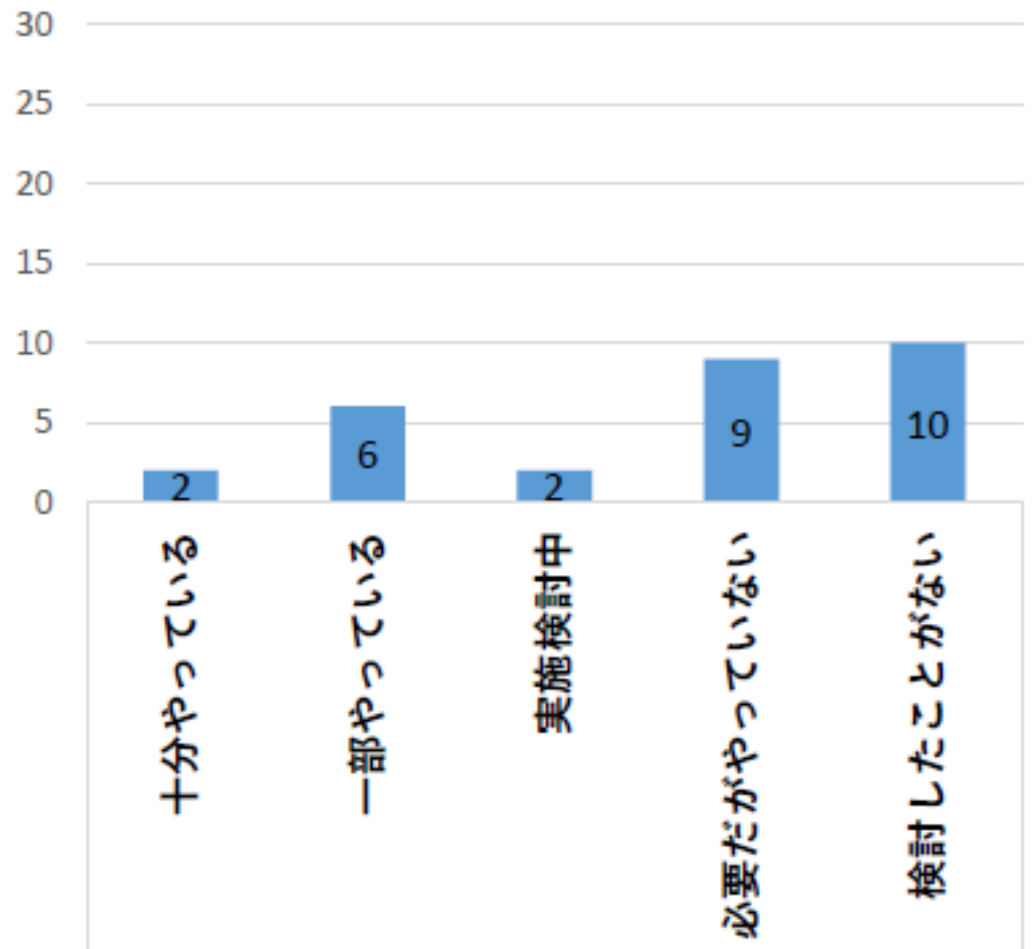
自主防災組織を補完する地域コミュニティ組織



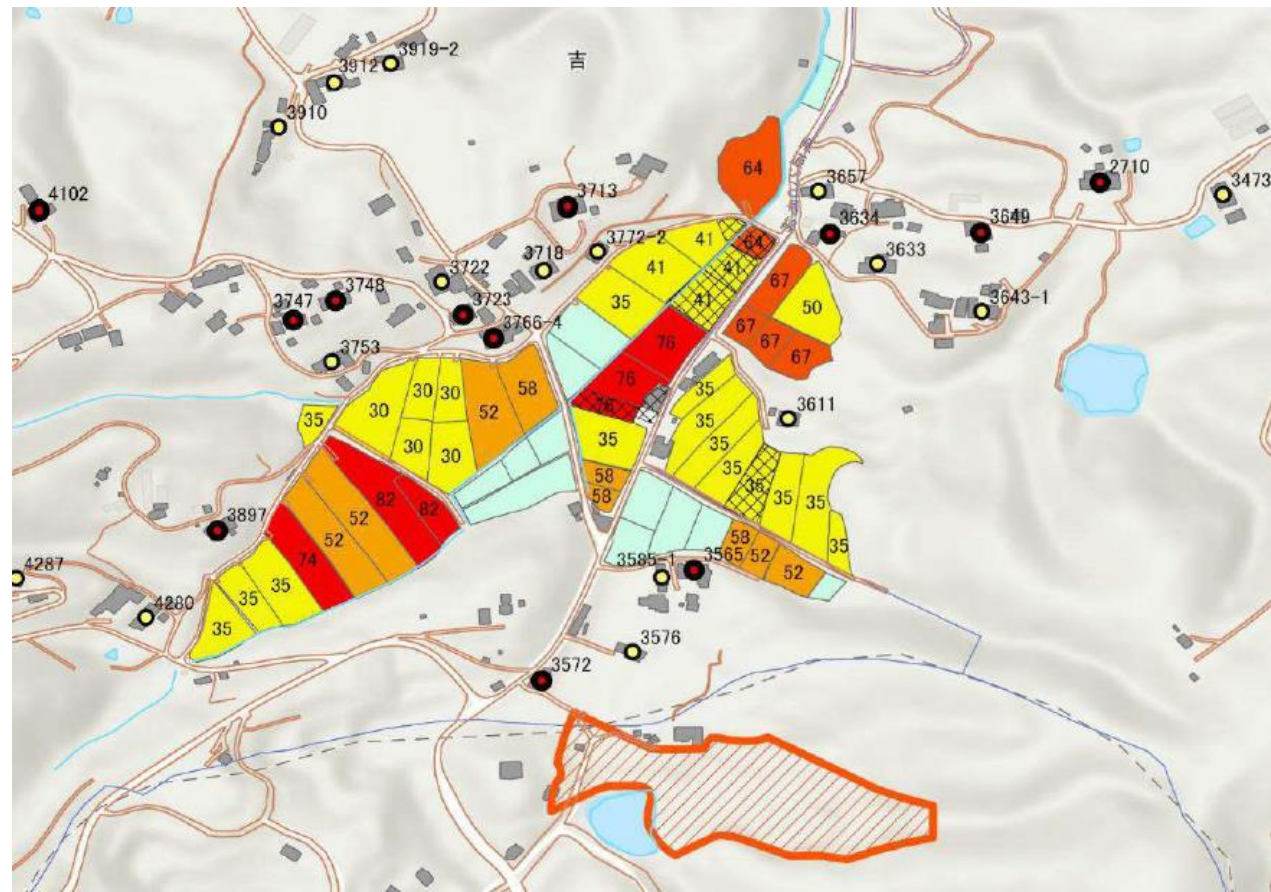
②各区・町内会の防災体制をサポートする体制をとっている



全農家・全農地一筆単位の「圃場管理システム」による農地・農家管理

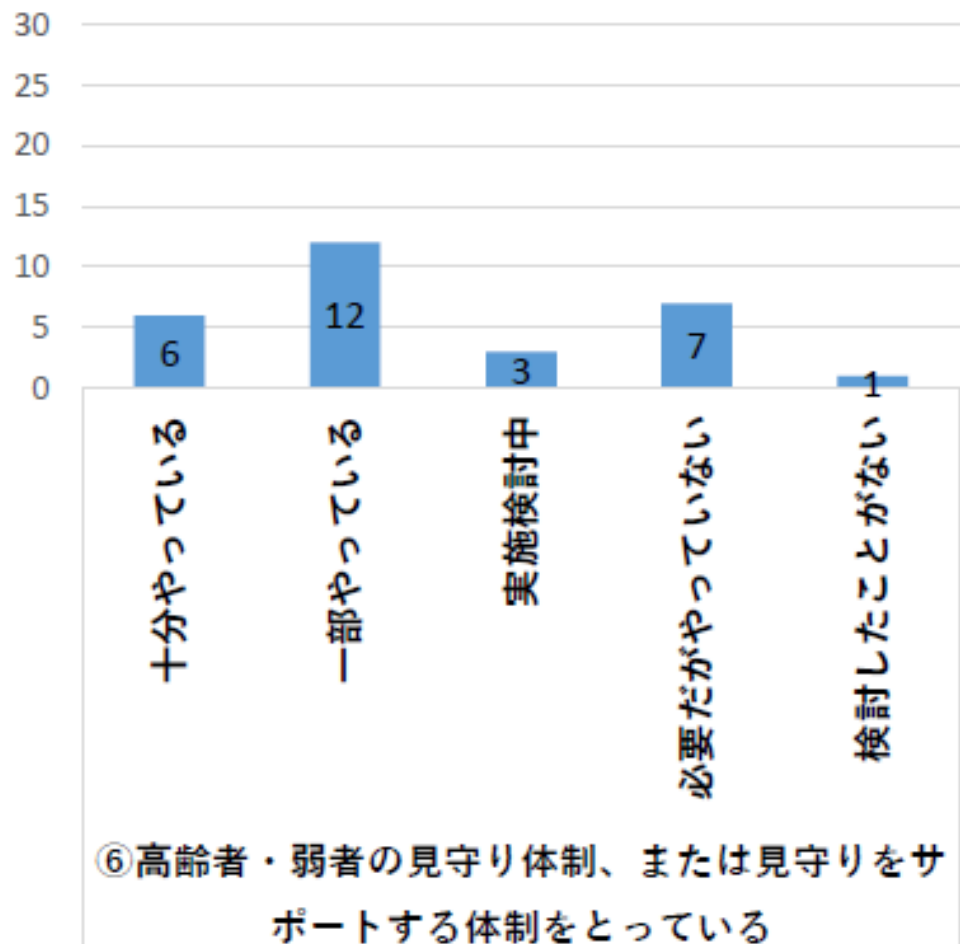


③地区内の農業の実態を把握している

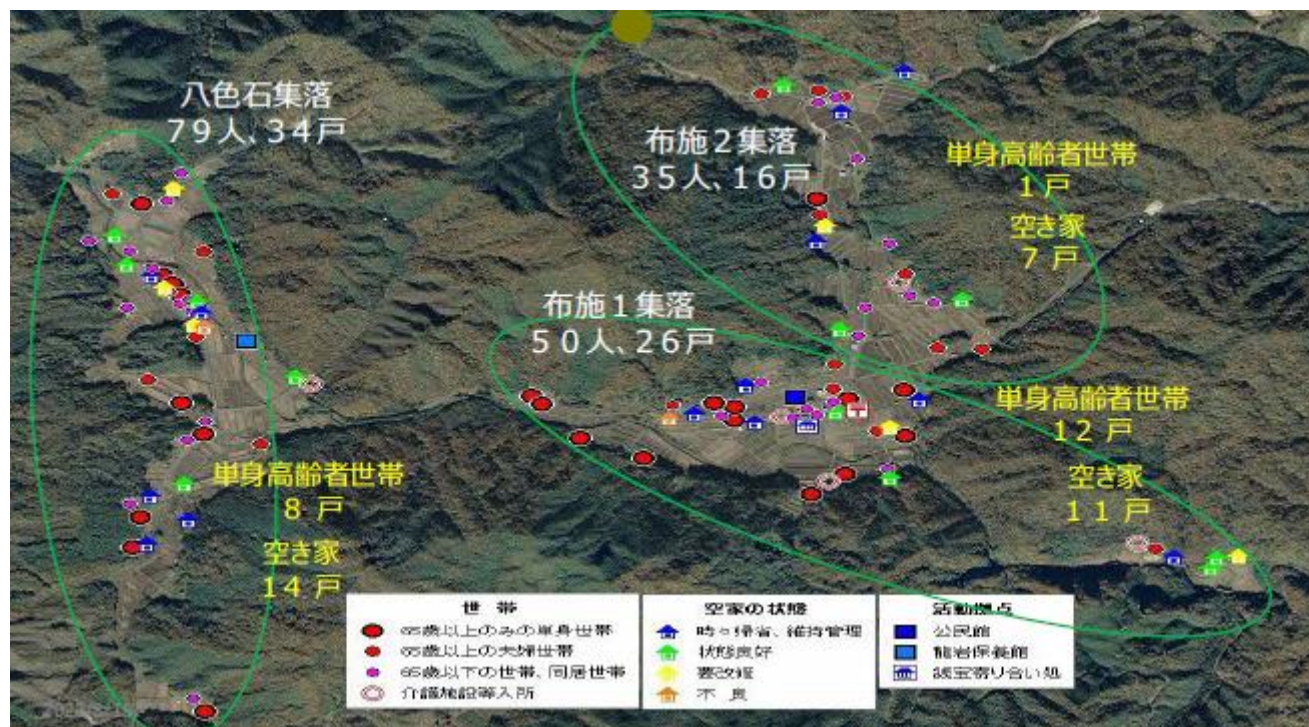


(岡山県真庭市社集落資料より転載)

地域福祉：高齢者，弱者の見守り体制をサポート



島根県銭宝地区 高齢者のみ世帯の全数把握

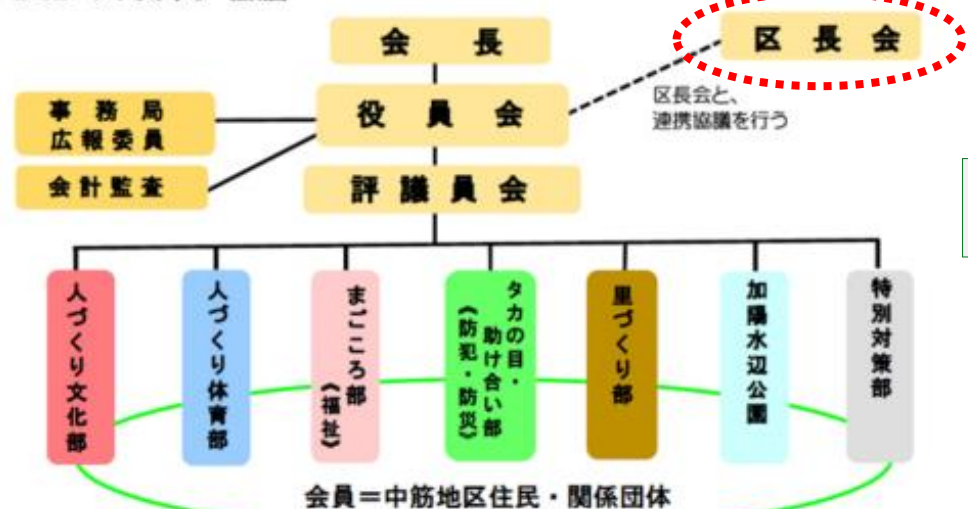


(島根県邑南町銭宝地区資料より転載)

IV これからの地域コミュニティを考える材料

行政区と地域コミュニティ（地域運営組織）の補完関係

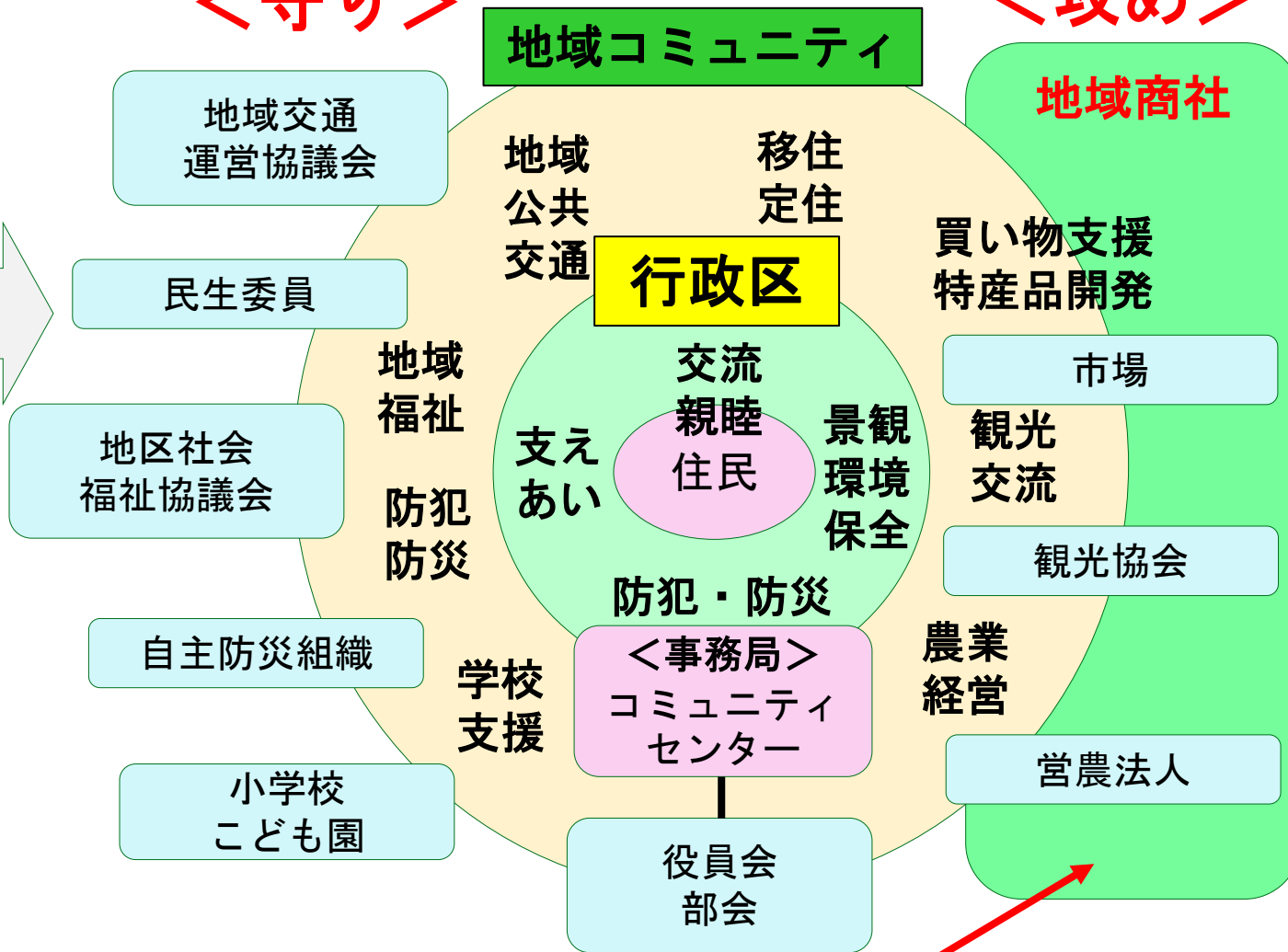
コミュニティなかすじ 組織図



(豊岡市HPより転載)

<守り>

<攻め>



住民合意の外だし「実行組織」（法人）を設置することもできる

V おわりに

「話し合い」のポイント

その1

- 「何のために集まっているかを常に確認」

その2

- 「みんなが楽しい雰囲気」

その3

- 「色々な人の色々な意見を認める」

その4

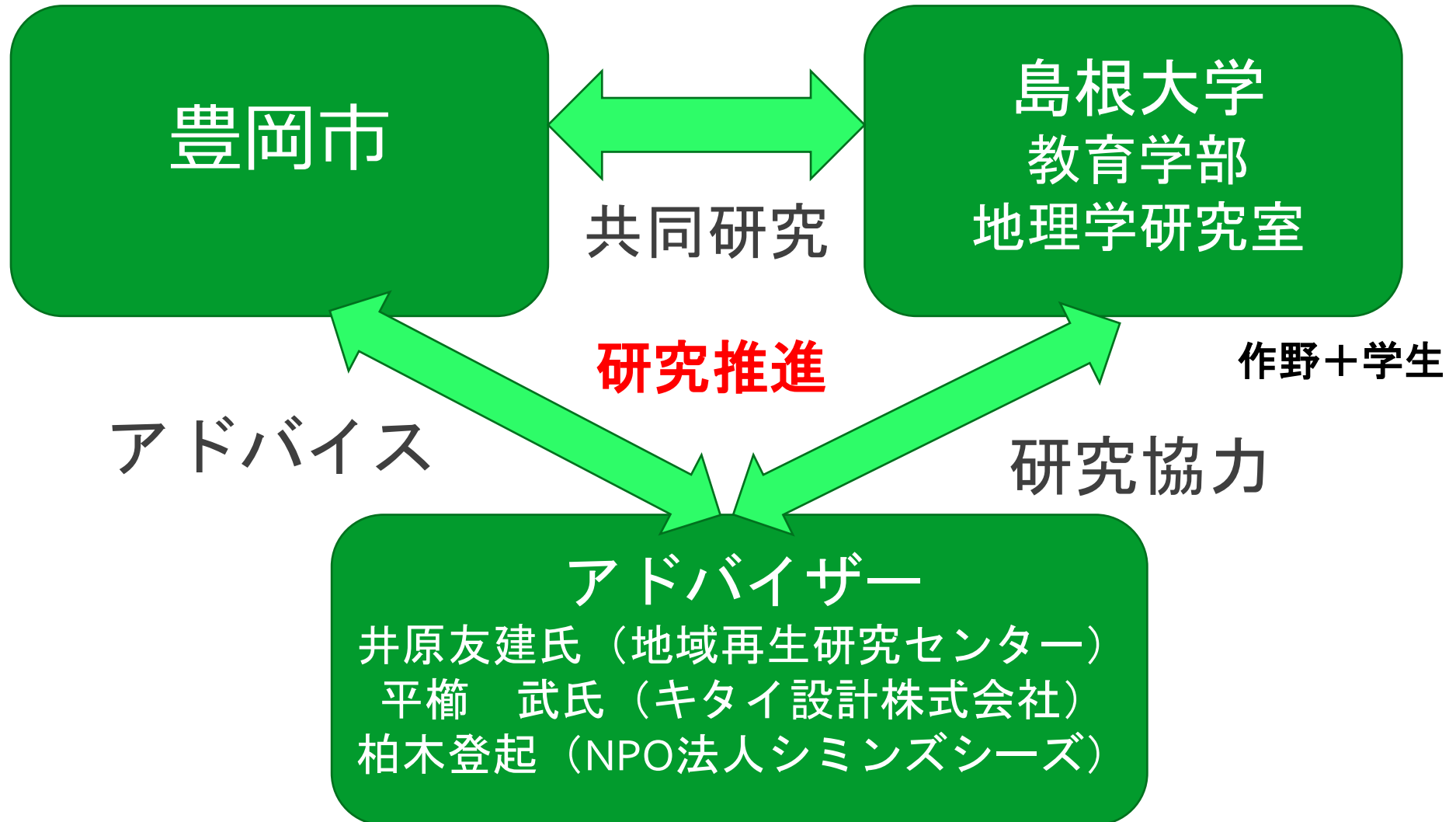
- 「自分ごとにしてできるように」

その5

- 「小さなお試しから始めてみる」



豊岡市共同研究の実施体制



豊岡市共同研究の実績

第1期共同研究 2017年度～2019年度

2017年度の実施状況〔調査対象地：八条地区（妙楽寺区）、竹野南地区（桑野本区）、八代地区（中区）〕

- ① 全29地域コミュニティ組織と全行政区を対象としたアンケート調査
- ② 調査対象地への世帯訪問調査

2018年度の実施状況〔調査対象地：豊岡地区、竹野南地区、小坂地区〕

- ① 調査対象地区へのヒアリング調査、イベントアンケート調査、住民参加による座談会ヒアリング調査

2019年度の実施状況〔調査対象地：豊岡地区、小坂地区、合橋地区、久保区他周辺区、片間区、小谷区〕

- ① 調査対象地区へのヒアリング調査、住民参加による座談会ヒアリング調査
- ② 調査対象地区の各区長へのアンケート調査
- ③ 調査対象行政区へのヒアリング調査

第2期共同研究 2020年度～2022年度

2020年度の実施状況〔調査対象地：豊岡市役所関係課〕

- ① 区長連合会事務局ヒアリング調査
- ② 地域づくり職員ネットワークにおける地域への依頼事項等調査

2021年度の実施状況〔調査対象地：地域コミュニティ組織、行政区、世帯、豊岡市役所関係課〕

- ① 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査（対象：全地域コミュニティ組織、全行政区、小規模集落世帯）
- ② 地域づくり職員ネットワークにおける地域への依頼事項等調査

2022年度の実施状況〔調査対象地：豊岡市各地域コミュニティ組織、豊岡市役所関係課〕

- ① 支えあう地域のしくみを考える意見交換会の意見整理・分析
- ② 地域づくり職員ネットワークにおける地域への依頼事項等調査

豊岡市共同研究 第3期の予定

■ 第3期共同研究 2023年度～2025年度（予定）

- ① 地域コミュニティによる新たな取り組みの促進（全地区訪問）
- ② 地域コミュニティと行政区との関係とあるべき姿の解明（モデル地区）
- ③ 行政の地域コミュニティに対する向き合い方の検討（職員ネットワーク会議）

基本方針	具体的なコミュニティ像	話題となった地域での活動
(1) 住み続けられる地域の維持	① 地区住民みんなで持続可能な住民自治が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財産や建物の共同管理
	② 地区で子どもを育てる体制ができている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防犯・子ども見守り ■ 子育て支援活動
	③ 地区にU I ターンする若者が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家・空き地の対応 ■ 移住・定住の推進
(2) 暮らしやすさの持続	① 地区の防災力が高まっている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災活動・防火活動
	② 地区で住みよい環境が守られ活かされている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 清掃、草刈り、美化活動 ■ 耕作放棄地の解消・営農組織設立
	③ 地区のすべての人が支え合っている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者への声かけ、見守り ■ サロン、介護予防、福祉 ■ 買い物支援・交通弱者対応
(3) 個性ある地域の誇りづくり	① 地域の資源を活かして地区が豊かになっている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特産物の開発や加工品の生産・販売
	② 地区の伝統や文化が次世代にうまく継承されている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化・伝統行事の継承
	③ 地区住民が学び合い豊かに生活している	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康、スポーツ、レクレーション ■ 学校利活用

地域課題を住民の力で解決



共同研究を通して「支えあう地域」の構築をサポート

